



練馬東中学校

学校だより

11月

教育目標 ○心豊かな人 ○健康な人 ○考える人 ○共に生きる人

令和7年度 11月号

見方・考え方をプラスに変えて



今この時間を大切に！

校長 岩本 眞由美

10月18日は合唱コンクールが開催され、多くの保護者の皆様にご来校いただき、誠にありがとうございました。1年生は元気よく、明るい歌声で歌い上げ、2年生は響きが重厚になり、男子と女子のハーモニーが複雑になった曲を歌い上げました。3年生では、男子、女子ともに変声が進み、一層深みのある声で表現力高く歌い上げました。最初の挨拶で、「絵を平面の芸術、彫刻を立体の芸術とすれば、音楽は時間の芸術と言えるのではないのでしょうか。過ぎ去った時間は戻れません。録音・録画として聴くことはできますが、その時、その場で聴く生の演奏・発表は、他に代えることができない貴重なものです。本日の発表をかけがえのないものとして楽しみ、思い出としてください。」という内容をお話いたしました。音楽は聴覚に訴える芸術ですが、音符や休符には長さが必ず示されているように、時間が深く関係する芸術です。

時間についていろいろと考えると不思議な特性があります。時間を計る単位は、1日24時間、1時間60分、1分60秒というのは、皆同じです。1日の長さは誰にでも平等に与えられているもので、人によって物理的な長さが違うことはありません。しかし感覚的な時間の長さは人や状況によって大きく異なります。子供の頃は1日、1年がとても長く感じていたのに、大人になればなるほど感じる時間が早まります。「もう11月なのか、今年もあつという間ですね。」なんて会話は、歳をとればとるほどよく聞かれるものです。あるテレビ番組で子供と大人の時間の経過の感覚の違いはどうして生まれるのかについて解説をしていました。それによると子供時代は経験することが何もかも初めてで、様々な感動やときめきがあることで、時間を長く感じているとのことでした。逆に大人は様々な経験をしてきたことで、感動やときめきを失ってしまって、時間が早く過ぎ去ってしまうように感じてしまうと説明されていました。初めての場所に行くときに、到着まで長く感じるのに、帰路は短く感じるのもこの理由のように感じます。それとは逆に、自分の中で興味があり、面白い授業、楽しい授業も1時間はあつという間に過ぎるのに、興味がなくつまらない授業は1時間がとても長く感じることは、誰もが経験していることではないのでしょうか。

3年生は、これから進路決定に向けて、受験という大きな人生の選択のタイミングがやってきます。これからは、進路決定に向けた学習の最後の仕上げの段階に近づいていきます。「受験勉強しんどい」「早く終わりたい」等の声を聞くことがあります。こういう時の時間は長く感じるので、なかなか大変です。「受験勉強で新しい発見があった」等の思いになっている時はあつという間に時間が過ぎます。

感動やときめきのようなプラスの感情をもつことが、充実した時間を過ごすために必要だとすると、必然的に机に向かう時間が長くならなければならないこの時期に充実した時間を過ごすためには、見方・考え方をプラスに変えて、楽しんで学習することが大切なのだらうと考えます。3年生にとっては、なかなか考え方をプラスに変えていくことは難しいかもしれませんが、これからの人生の中でつらい時期、苦しい時期をいろいろと過ごすことは間違いないでしょう。ここで、自分の心のもちようを変える力をつけることができれば、この先、必ず役立つことは間違いありません。時間は決して戻せません。だからこそ、今この時間をどう過ごしていきたいのかを大切にして1日1日を過ごしてほしいと思います。

合唱コンクール

本年度も、合唱コンクールが盛大に行われました。生徒一人一人が真剣な表情で歌う姿に、これまでの努力とクラスの絆の深さを感じました。会場には、澄んだ歌声とともに温かな感動が広がり、まさに「心を合わせる」ことの素晴らしさを実感できるひとときでした。

生徒たちの頑張りに心から拍手を送りたいと思います。



進路説明会

3年生と保護者の皆さん向けの進路説明会を行いました。多くの保護者の方にご参加いただき、生徒たちも真剣な表情で話を聞いていました。進路に向けて考えを深めるよい機会となりました。これから、それぞれの目標に向かって、一步ずつ努力を重ねていってほしいと思います。



スケアード・ストレイト

警察とスタントマンの方をお招きし、「スケアード・ストレイト(交通安全教室)」を実施しました。小雨のため、実演の様子は教室のプロジェクターで中継映像を通して見学しました。迫力ある映像に、生徒たちは真剣な表情で安全について考えていました。

これからも交通ルールを守り、安全に登下校していきましょう。



【給食着の運用について】

給食当番では、共用の給食着(白衣)を使用することを基本としていますが、柔軟剤の香りや衛生面での不安、その他のご事情がある場合には、各ご家庭で用意した給食着(エプロン等)を使用することも可能です。希望する場合は、担任の先生へご連絡ください。

また、給食着をご家庭で洗濯される際には、香りの強い柔軟剤等の使用を控えていただくようご配慮をお願いします。香りによって体調に影響を受ける生徒もいますので、皆様のご理解とご協力をお願いします。